

大震災に備えなくては

～災害時の避難場所を考える～

もしものとき、あなたは、自分を、家族をどこで守りますか？

小正防災だより 第4号

令和7年9月発行

小正市民センター地区まちづくり
減災委員会 発行

▼在宅避難 …携帯トイレ・食料・飲料水の備えは、7日分！



説明	住宅の耐震基準は、大地震が発生するたびに見直されています。1981年(昭和56年)の改正を節目とし、それより前を旧耐震基準、それより後を新耐震基準と呼びます。 旧耐震基準：震度5程度の中規模地震には耐えられるが、それ以上の大地震だと倒壊する可能性がある。 新耐震基準：震度6強程度の大地震であっても倒壊・崩落して人が押しつぶされることはない。	
比較	良い点 - 慣れた場所で、ストレスが少ない。 - プライバシーが守れる。 - 空き巣被害や盗難防止になる。 - ふだん通りペットの面倒をみられる。 - 感染リスクが低い。	悪い点 - 支援物資や外部情報を得難い。 - 倒壊の心配がないわけではない。 - 孤立の心配 →ふだんからご近所付き合いを！
課題留意点	・支援物資補給や情報収集のために、こまめに『指定避難所』に赴くことが大切 ・家具の転倒防止、ガラスの飛散防止などの対策が必要	

[参考] 稲沢市の住宅耐震化率 83.3% (令和3年調べ) 情報：国土交通省 HP・市町村別の住宅耐震化率(令和6年4月1日発表)より

▼指定避難所 …小正市民センター地区の指定避難所収容人数は、人口の7.6% (『小正地区防災カルテ』令和2年4月全戸配布より)

説明	市内小中学校(体育館・武道館)など市内40カ所 ※県立高校、総合体育館、市民会館含む	
比較	良い点 - 倒壊の可能性が低い。 - 外部情報を得やすい。 →福祉避難所、他の宿泊施設の開設状況等 - 医療支援や行政サービスを受け易い。 - 他者と会話ができ、安心感がある。	悪い点 - 収容人数に限りがある。 - プライバシーの確保が難しい。 - ケンカなどトラブルが発生しやすい。 - 無秩序状態になる可能性がある。 - 犯罪(盗難、性犯罪等)のリスクがある。 - 感染リスクがある。衛生悪化の傾向 - 集団生活のルールに従う必要がある。
課題留意点	・男女のニーズの違い等に対応できる体制作りが必要 ・稲沢市では、居住地による『指定避難所』は定められていません。 そうしたことから、小正市民センター地区の5つ『指定避難所』の中では、稲沢中学校に避難者が集中する可能性が高いと言われています(理由：①比較的人口密度が高い、②小池正明寺・国府宮・松下・高御堂等と広範囲、さらに③国府宮駅利用者の『指定緊急避難場所』となっている)。	

▼近くの 町内避難所



説明	町内の公民館・集会所・公会堂・町内〇〇会館 など	
比較	良い点 - 知人が多く、トラブルが起きにくい。 - 居住地から近いため、必要な物資を自宅から運びやすい。 - 運営組織を作りやすい(区長等)。	悪い点 - 施設が利用できるかどうか確認が必要 - 集団生活のルールに従う必要がある。 - 感染リスクがある。 - 誰かが動かないとまとまらない。
課題留意点	・避難物資をどのように補充していくか。 ・自家発電のシステムがあるとよい。 ・町内避難所の開設は、町内の自治的・自発的な活動に任されています。	

私たちの地域は、大震災が発生すると、液状化のため『上下水道』が使えなくなります ***** 裏面に続く

こんな場所での避難も考えられます……その他の避難場所

▼車中泊

説 明	場所的には、庭、車庫、駐車場、空き地、公園*、参道 など	
比 較	良 い 点 ・プライバシーを確保できる。 ・工夫次第で、快適な避難生活が可能 ・防災倉庫として物資保管が容易 ・外部情報が得やすい（カーナビ等）。 ・状況に応じて、移動が容易 ・防寒・保温効果が確保しやすく、風雨をしのげる。 ・感染症対策が比較的容易	悪 い 点 ・燃料(ガソリン)欠乏に留意 ・渋滞で身動きがとれなくなることも。 ・要配慮者にとってはよりハードルの高い避難方法 ・<u>停泊場所の利用確認が必要</u> ・長期滞在には不向き
課 題 留意点	・停泊位置の自然条件(傾斜地・冠水・日除け等)に留意 ※事前のリサーチが必要 ・エコノミークラス症候群(肺血栓塞栓症)、熱中症、一酸化炭素中毒に留意 ・事前に車中泊体験をしておくとうい (→ 必要な物資や工夫箇所が分かる)。	



※稲沢市の公園*：都市公園(市内に 61 ケ所)、他に児童遊園・ちびっこ広場・地区広場

▼テント泊 等

説 明	場所的には、庭、車庫、駐車場、空き地、公園*、畑、参道、ビニールハウスなど	
比 較	良 い 点 ・プライバシーを確保できる。 ・倒壊の心配がない。 ・防寒・保温効果が確保しやすく、風雨をしのげる。 ・感染症対策が比較的容易	悪 い 点 ・テントが必要 ・<u>宿泊場所の利用確認が必要</u> ・長期滞在には不向き
課 題 留意点	・宿泊位置の自然条件(傾斜地・冠水・日除け等)に留意 ・アウトドアが趣味の方に有利 → 平時に、自宅付近で、テント宿泊体験をしておくとうい。	



※稲沢市の公園*：都市公園(市内に 61 ケ所)、他に児童遊園・ちびっこ広場・地区広場

▼その他

説 明	企業・民間施設、市内大学・短大・私立高、ホテル ※市と事前協定済みの施設もあります。	
比 較	良 い 点 ・快適な生活空間・環境を得やすい。 ・支援物資を受け取りやすい。	悪 い 点 ・施設の都合で、利用ルールをきちんと守らなければならない。 ・施設の都合により長期間滞在は難しい。 ・開設しているかどうか不明瞭
課 題 留意点	・事前に、<u>可能な避難場所の情報を得る方法を検討しておく必要がある。</u> (→ 市関連 HP、指定避難所、口コミ等)	

編集後記 当会では、プロジェクトチームを立ち上げ、皆様方の災害対策に役立つ情報を！と、研究に研究を重ねています。中でも避難場所や避難方法は複雑多岐に渡っており、また、必要なモノ・大切なモノは個人によって異なります。結局は皆様方個々の判断にゆだねることになります。

大災害に立ち向かうためには、大きな目と大きな耳、そして、思いやりと助け合いの精神が大切ではないでしょうか。

減災委員一同、地域の皆様方の健康・安全を願うとともに、本紙がその一助となることを願ってやみません。どんなときも希望を持ち続け、未来につなげましょう。



地域の減災事業を一緒に推進してくださる方を随時募集しています。

減災委員の条件 ①小正市民センター地区の住民であること ②活動の主旨に賛同される方
ご希望の方は、小正市民センターまでご連絡ください。 TEL 0587-21-8000